

ハード&ヘヴィ・ロック・マガジン

ウィ・ロック

平成28年11月1日発行
月刊サウンド・デザイナー 11月号増刊

WeROCK

VISUAL JAPAN SUMMIT 2016 開催記念特集

エクスタシー・サミット 24年ぶりに復活!

YOSHIKI=緊急記者会見を誌上中継
エクスタシー・サミットの歴史
参加バンドの声



LOUDNESS

とっておきの35周年企画登場!!

メタル女子

~Yoshi (ALDIOUS)

大人の楽器選び~こだわりのハイ・クラス・モデルを試奏

Mary's Blood
ALDIOUS
CYNTIA

Vol. **055**

BULL ZEICHEN 88
AMARANTHE

ついに登場! マーシャルが放つ

最新デジタル・アンプ!!

歴代マーシャルの名機を1台に凝縮! なんと、スマホで操作可能

“いつなのか? どうなのか!?”と話題を呼んでいた、ギタリスト注目のマーシャルのデジタル・アンプ。ついに、日本発売が決定し、その詳細が明らかになった! このCODEと名付けられたモデルにWeROCKも注目。巻頭で、試奏レポートをお届けしたいと思う。



Marshall
CODE

◎左より、CODE25(25wコンボ)、CODE100H(100wヘッド)+専用キャビネットCODE412、CODE50(50wコンボ)、CODE100(100wコンボ)

まずは、CODE 25を試してみた!!

今年初頭に行なわれたNAMM SHOWで発表され、すでにネット上では話題となっていたマーシャルが送り出すデジタル・アンプ、CODE(コード)。日本での発売時期が注目されていたが、ついに情報解禁となり、WeROCK編集部にも試奏機が到着した! 25wの小型モデルから100wのスタックまで合計4機種発表されているが、今回は25wのCODE 25を試奏。基本的な中身は、全機種同じなので、そのサウンドの傾向は、今回の25wモデルでつかめるだろう。

さて、このCODE。いちばんの注目は、歴代のマーシャル・アンプを最新のデジタル技術で1台に凝縮している点だろう。右ページに表を掲載しているが、プリアンプ部にはJTM45をはじめ、1962 Bluesbreaker、1959SLP Plexi、JCM800 2203、JCM2555 Silver Jubilee、JCM2000

DSL100、JVM410Hと、全部を購入したらウン百万してしまうだろうという機種をモデリング。他のデジタル・アンプやDAWのプラグ・インで、マーシャルのシミュレートがあっても、こちらは本物のマーシャルが手掛けたモデリングなので、マーシャル・ファンならずとも気になるアンプだろう。

では、さっそく、試奏してみよう。25wモデルということで、ボディは小型で立方形に近い筐体となっている。コントロール類を上部に配置したことでコンパクトさを実現しており、自宅などでも大きすぎないサイズといえる。これまでのマーシャルの、同ワット数のモデルよりもコンパクトな印象だ。

いよいよ電源を入れてみる。マーシャルの新製品というだけでもワクワクしてしまうのは、ギター

ストならみんな同じか!? 電源を入れると、あらかじめ搭載されているプリセットが立ち上がる。ここではプリセットをスルーして、プリアンプやパワー・アンプ、キャビネット、エフェクトの音を確認していこう。まずは、プリアンプ・セクションから、きっと、みんなが気になるJCM2000のモデリングであるOD DSLというセクションだ。パワー・アンプのセクションにはClassic Marshall 100wというEL34管のモデリングをセレクト。キャビネットは1960を選択し、いかにも2000という組み合わせで弾いてみよう。弾いてみると、歪みのツブが、やや細かいかと思いきや、なるほど2000のリード2チャンネルをモデリングしているセクションだった。しかし、このCODE 25、小さいながらも低音がよく出てくれる。ベースを上げていくと、かなりブーミーな歪みまで作り出して

マーシャル CODE 25 ¥オープン

●出力 (RMS):25w ●コントロール:ゲイン、ベース、ミドル、トレブル、ヴォリューム、マスター ●プリセット:ユーザー編集可能な100個のプリセット ●フットコントローラー:4 ウェイ・プログラム可能 (PEDAL-91009、別売り) ●ストomp・ボックスFX:コンプレッサー、ディストーション(3種類)、オート・ワウ、ピッチ・シフター ●リアンプ・モデル:クリーン×5、クランチ×5、オーバードライブ×4、ナチュラル、ゲート ●モジュレーション系FX:コーラス、フランジャー、フェイザー、トレモロ ●空間系FX:ディレイ×4、リバーブ×4 ●パワー・アンプ・モデル:クラシック・マーシャル100w、ヴィンテージ・マーシャル30w、イギリス製クラスA、アメリカ製クラスA/B ●キャビネット・タイプ:全8種類 ●接続:Bluetooth® 4.0 および USB 2.0 ●外形寸法:340(高さ)×350(幅)×215(奥行き) mm ●重量:6.1 kg

【セクション・スイッチ】エフェクトやリアンプ、パワー・アンプにキャビネットなどを選択するボタン。ボタンを押すとオン/オフ (オンで赤色LED点灯/オフで消灯)、長押しでエディット・モードに突入する (青色LEDが点灯)。エディットは、プリセット・コントローラーがエディット・コントローラーとなる。いちばん右のEXIT/SOREボタンを長押しすると設定が保存される。液晶画面には、その時のプリセット番号やエディット値が表示される。



◀ CODE 25は、コンパクトなサイズとなっている。WeROCKと比べると、こんな感じだ。それでも、かなりの音圧がある

また、ボタン2つ押しでチューナー・モードに突入したり、ブルートゥース機能を開始することが可能だ。



【専用のフットスイッチ】使用すると、まるでエフェクト・スイッチング・システムのように音色を切り替えることが可能となる



【USB】PCとUSB接続することで、なんとCODEをオーディオ・インターフェイスとしても使用できる

【コントローラー】基本となるツマミ類は、デジタルということで複雑に感じてもいいかもしれないが、ゲイン、ベース、ミドル、トレブル、ヴォリューム、そしてマスター・ヴォリュームというマーシャルの王道だ

【外部入力&ヘッドフォン出力】オーディオ・プレイヤーを接続し、アンプで鳴らすことが可能。もちろんヘッドフォン・アウトも装備している



▲スマートフォンとブルートゥースにより接続が可能。アンプのプリセットの呼び出しやエディットなどを手元で操作できる他、スマホに入っている曲を流すことも可能だ。右写真が、専用アプリの画面だ

くれた。OD DSLのみだと、少し歪みが足らないと感じたなら、PRE FXというセクションに歪み系エフェクトが入っている。この中には、なんと、あの名機マーシャル・ガヴァナーもモデリングされているが、相性がいいなと感じたのはODRというクラシックなオーバードライブだ。OD DSLに組み合わせると、2000をオーバードライブでブーストした歪みになってくれた。

続いて、このパワー・アンプとキャビネットのセクションを維持したまま、プリ部をOD JVMというJVM410HのOD1レッド・チャンネルをモデリングしたセクションにしてみた。本物のJVMのOD2だと、少し歪みが強すぎると思っていたので、OD1をモデリングしてくれたのはうれしいところ。弾いてみると、OD DSLよりも歪みが強くなっている。さすがJVM！ このぐらい歪んでくれれば、OD DSLの時に必要と感じたオーバードライブはいらない印象だ。それに、中域がアップしたようなトーンになるので、ヴォリューム感も感じられる。

さて、このアンプのすごいところは、このまま、真空管やキャビネットを変更できること。DAWのプラグ・インなどでは、もはやおなじみの機能が、本物のアンプでできてしまうのだ。さっそく、OD JVMのまま、真空管を6L6のモデリングに

変えてみよう。ギタリストにとっては、現実ではなかなかできないことなのだが、ツマミひとつで変更できた。すると、中低域が膨よかになってくれる。おー、JVMをEL34から6L6に変えると、こういう感じになるのか!? という妄想と現実の狭間を体験できた。ついでに、OD DSLと6L6を組み合わせよう。こちらのほうが、EL34よりもフラットなトーンに感じられる。“実際の2000でやってもこうなのかな?”という、なかなか現実的には難しい真空管の交換実験がすぐにできてしまうのだ。もちろん、とても何台も買うことができないキャビネットを試すこともできる。1960から1960Xにして弾いてみると、先ほど“低音がよく出ている”と記したが、その低音の感じがスッキリして、ハイが伸びてくれる。1960って低音がよく出るスピーカーなんだ、という勉強にもなった。ちなみに、いろいろ音色を変えてみたが、気に入ったセッティングは保存す

ることが可能 (最大100個保存可能) で、エフェクトは5つまで同時使用できる。

さらに、CODEのすごいところは、Bluetoothを搭載し、スマホ専用アプリで遠隔操作もできるし、他のユーザーとプリセットの共有もできるという! さらにさらに、PCとUSB接続することでオーディオ・インターフェイスにもなるというじゃないですか!?

天下のマーシャルが、とんでもなく便利で近未来対応のモデルを発表してくれました。

気になる、モデルとなった機種は!?

プリセット名	モデル名
Natural	Classic Marshall 100W (EL34)
JTM45 (JTM45 2245)	Vintage Marshall 30W (5881)
Clean DSL (DSL100Hのクリーン)	British Class A (EL84)
Clean American	American Class A/B (6L6)
Clean JVM (JVM410Hのクリーン)	1960 (G12-T75 x 4)
Acoustic	1960V (Vintage x 4)
Bluesbreaker (1962)	1960X (G12M-25 x 4)
Plexi (1959SLP)	1960HW (G12H-30 x 4)
Crunch American	1936 (G12-T75 x 2)
JCM800 (2203)	1936V (Vintage x 2)
50's British	1912 (G12-B150 x 1)
OD JVM (JVM410HのOD1レッド)	1974CX (G12M-20 x 1)
OD DSL (JCM2000 DSLのリード2)	
OD American	
OD Silver Jubilee (2555のリード2)	

※色付き部分がマーシャル・アンプのモデリング